

第2回甲子プロジェクト

「トマス・カーライルの「衣装の哲学」ー 19世紀英国におけるダンディズムの流行」

生活美学研究所では、武庫川女子大学英語文化学科の玉井暲先生をお迎えし、甲子プロジェクト第2回研究会を以下のように開催致しました。たくさんのご参加を誠にありがとうございました。

「トマス・カーライルの「衣装の哲学」ー 19世紀英国におけるダンディズムの流行」

甲子園ホテルを設計した遠藤新は、仙台第二高等学校時代の恩師土井晩翠を通じてトマス・カーライルの『衣裳哲学』（土井晩翠翻訳）に影響を受けていたと考えられます。カーライルは、人間の文明社会のすべての営みを「衣装」をモデルとしてとらえ、その意味で「衣装」の本質を究明しようとししました。遠藤は、それを「建築」に置き換えたと考えられます。

今回、玉井先生には、19世紀イギリス文学にみられるダンディズムを対象に、「衣裳の哲学」としてお話いただきます。

講師

英語文化学科 玉井暲先生

テーマ

トマス・カーライルの「衣装の哲学」ー 19世紀英国におけるダンディズムの流行

コーディネーター

黒田智子（武庫川女子大学 生活美学研究所研究員）

日時：12月19日（土）3限

場所：武庫川女子大学 S23

問い合わせ先

武庫川女子大学生生活美学研究所

TEL：0798-67-1291